

予算決算委員会産業建設分科会会議記録
(補正予算審査)

1. 日 時	令和3年2月5日 9時27分開会 令和3年2月5日 13時42分閉会
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	吉田知代座長、栗山泰三副座長、 丹後政俊委員、園田依子委員、大西基雄委員、森本富夫委員
4. 欠席議員	なし
9. 会議に付した事件	議案第 6号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算(13号) 議案第 10号 令和2年度丹波篠山市水道事業会計補正予算(第6号) 議案第 11号 令和2年度丹波篠山市下水道事業会計補正予算(第6号)
10. 議事の経過	開会 9:27 【分科会】 吉田座長 開会宣告 吉田座長 あいさつ ■日程第1 議案第6号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算(第13号) 農業委員会事務局 【主な説明】 事務局 補正予算書に基づき説明 【主な質疑】 栗山副座長 農業委員関係費に関し、バス借上料の積算根拠を教えてください。 農業委員会 バス代につきましては、今年度は県外視察研修という事で北海道への研修を予定しておりました。市役所から伊丹空港までと北海道での2日分のバス代として計上しています。 大西委員 今年度は、コロナ禍において様々な事業が中止となっていますが、研修等の開催についての対策等は検討されているのでしょうか。 農業委員会、 毎月、農業委員に集まってもらう定例会議と、全員協議会ということで農業委員と推進委員に全員に集まっていただく会議を行っています。全員協議会は、通常、市役所の会議室を利用していますが、部屋が狭いため市民センターの多目的ホール等を利用し、感染防止対策として一定の距離を取った中で開催しています。次年度に向けても、感染状況を見ながら広いスペースで感染防止に努めて

いきながら行いたいと考えています。

大西委員

内部で行うような研修は、今言われたように広い場所でソーシャルディスタンスを取りながら行われるということは理解いたしますが、視察研修というようなことで外に向かって出られるような研修については、北海道というような遠い場所ではなく、近隣地でも先進的な場所もあるのではないかと考えますがどうお考えでしょうか。

農業委員会

県外視察研修につきましては、委員、推進委員との協議が必要となってきますが、事務局としましては、近畿圏もしくは中国、中部地域ぐらいのエリアで実施させていただければというように考えています。

■日程第1 議案第6号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算（第13号）

上下水道部

【主な説明】

上下水道部 補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

森本委員

小型合併処理浄化槽整備事業に関し、補助件数が確定したことによる予算減とのことですが、当初見込んでいた件数と実績数を参考までに教えて下さい。

上下水道部

当初見込んでいた件数としては、5人槽を5基、7人槽4基、10人槽1基の予定として予算措置をさせていただきました。その結果、今年につきましては5人槽が3基、7人槽が1基ということで、5人槽2基分、7人槽3基分、10人槽1基分の補助金を減額することになりました。

森本委員

理解はさせていただきました。前からお願いをしておりますが、下水道の恩恵を受けられる家庭が増加できるように、新年度に向けても普及啓発等をよろしくお願いします。

丹後委員

し尿処理費に関し、今回の補正で不用額が発生することになりますが、基金等に繰入れをするのでしょうか。

上下水道部

最終的には一般会計になりますので、市全体の中でのやりくりになりますので、1部署だけの判断ではできないということになってきます。

■日程第3 議案第11号 令和2年度丹波篠山市下水道事業会計補正予算（第3号）

【主な説明】

上下水道部 補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

栗山副座長 下水道事業建設改良費についてですが、管路施設劣化対策更新工事における設計業務費が計上されていますが、なぜこの調査を行うのかの説明をお願いします。

上下水道部 本年度に下水本管のカメラ調査を行いました。その結果不具合が生じている部分について、来年度工事を行うための設計業務について予算措置をお願いしている。

栗山副座長 今年度行った下水道本管のカメラ調査によって、不具合が見つかったという事ですが、38年経過したぐらいで管路は劣化するものなのでしょうか。その辺はどういう見通しをお持ちなのでしょうか

上下水道部 今年度下水道本管のカメラ調査をした部分につきましては、篠山処理区の一部でヒューム管を使って本管理設している部分に絞ってカメラ調査を行っています。ヒューム管についてはコンクリート製品ですので耐用年数が30年程度ということもあり、その部分について今回全て調査をした結果、不具合が見つかったということです。今後塩ビ管の部分について調査を継続で進めるかどうかというのは、検討させてもらうことになるかと思いますが、今回は劣化が進んでいるであろうという想定されるエリア全てを調査させてもらって、その結果不具合が生じたので、どういう工法で直すかというふうな検討も含めて来年度、工事の設計業務を計上させていただくとのことです。

栗山副座長 今回の工事で、市内の全てのヒューム管を対象としていると考えていいのでしょうか。

上下水道部 篠山処理区の施行年度の古いものの一部に、ヒューム管で施工した箇所があります。現在、他の処理区については、一切そのヒューム管を使用して施工したような事例はございませんので、篠山処理区の一部のそういう更新が必要ではないかというところを今年度カメラ調査させていただきました。先ほど申しあげました今後、塩ビ管の部分について調査をどの程度していくかということはまた検討させていただきますけれども、一旦この調査によって不具合が生じたヒューム管の部分について、更新工事を行って不明水対策を行おうと考えています。

栗山副座長 不具合があるなら工事をする必要もありますが、当然ながら

金銭面の対応も考えていかないとは思いますが、それについてはどのように考えていますか。

上下水道部

調査をさせていただいた延長はもう少し長いのですが、劣化の状態では緊急を要するものが 930m あります。年数が経てば、今把握している 930m 以外の部分でも不具合が発生するということも考えられますが、今現在は緊急度合いの高い部分を選んで来年度設計業務を行うものであり、今後は計画的に設計、修繕を行う必要があるものと考えられます。

栗山副座長

ヒューム管に対して、そのような対応を行う必要が出てきたということで、それに対する費用分も今後の管理計画の中に入れていかないといけないというような思いもしています。さらに経費がかさんでくるという認識でよろしいでしょうか。

上下水道部

先程申し上げましたが、市内全域で 600 キロほど管の延長があるのですが、そのうちヒューム管の部分は 2 キロぐらいの数字だというふうに記憶しているのですが、ストックマネジメント計画全体でいきますと、管路については 50 年 70 年の耐用年数があります。今回の部分については、どのようなきさつでヒューム管を導入したのかについて不明ですが、そういうものがある以上看過出来ませんので、計画として今申し上げたように傷む頻度が高いところから順々に直していこうというような思いで、今回この延長分にかかる予算を計上させていただいています。今後の見通しとして、定期的にカメラ調査を継続して行って、ストックマネジメント計画に基づき計画的に工事を行っていきたいというように思います。現時点では、今回計上されてない部分についての予定については、まだ予定が立っていない状況ですので、緊急度合いの高い部分については、来年度設計をして来年度以降に工事をして修繕を行うという予定であることだけが現在決まっていることですが、今申し上げたとおりこの調査をしたことによって、全てのヒューム管の部分がストックマネジメント計画の事業のメニューにのぼったと御理解をいただければと思います。

森本委員

3 月の補正で計上いただいている事業全体について、概ね順調に進んでいるのか、前倒して積極的に取り組んでいただいている事業も今説明をいただきましたけど、全体的な進捗状況、また問題点がある場合について大まかで結構ですので、何かおつなぎをいただけたらうれしいと思います。

上下水道部

それぞれ例えばストックマネジメント事業であるとか、新たな

管の接続する工事が例えば未普及対策ですとか、あと統廃合事業ですね。それらについては、建設改良工事それこそ先ほども財源の話が出ましたので、できれば担当課としては、計画的に事業を進めたいと考えますが、単年に極端に建設業費が上がるような波をつくるようなことは、出来たら避けたいなというような思いがあります。事業を順調に進めたいのですが、経済的な理由のこともありますので、統廃合なんかも積極的に進めればいいのですが、そのために一時的に建設事業費がかさみ、財政的に苦しくなるということも避けたいというような思いもありますので、その辺を見極めながら、その年度毎の事業費の波を少なくしながら、計画的に事業執行出来たらと考えています。

■日程第2 議案第10号 令和2年度丹波篠山市水道事業会計補正予算（第6号）

【主な説明】

上下水道部 補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

栗山副座長 建設改良費の中で今田加圧所の件ですが、具体的にどんな設計をされたのでしょうか。

上下水道部 設計委託業務の内容についてですが、これにつきましては、現在工事中であります発電機を設置する発電機自体の大きさの決定、それを進める上での基礎の大きさである等を詳細に決定するための設計業務として実施したものです。

栗山副座長 発電機を設置する基礎の部分の設計に関連するものを設計されたという事でしょうか。

上下水道部 基礎だけではなく、発電機を停電時に動かす際に最低限稼働させたい設備が消費する電力を賄える発電機容量の計算や発電機の配置計画、また発電機を置く基礎の構造計算等を行ったものです。

栗山副座長 6月の現地踏査時点では、設置場所はまだ決まっていなかったのですが、どの場所に決定したのでしょうか。

上下水道部 6月補正の計上時に現地確認していただきまして、今の既存の建物とフェンスの間の約4メートルの狭い場所になると思いますということでお示しさせていただきました。実際、それ以外の場所については、三田浄水場から来ているその送水管であるとか、油井の調整池に送っている送水管等地下埋設物がかなり場内に埋設されておりますので、どうしても現地確認していただいた場所ぐらいでない場所がないということで、最終的にはその場所で現在も施工を

進めております。

■日程第1 議案第6号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算(第13号)

農都創造部

【主な説明】

農都創造部 補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

丹後委員

新規就農者支援事業に関し、新規就農総合支援事業補助金が減額されているという説明がありましたが、別途いただいている資料に、今回の新規就農者49歳以下の方が7名という実績が記載されていますが、当初はもっと沢山の新規就農者を予定していたのでしょうか。

農都創造部

当初の予定は、1,425万円ということで予定していましたが、離農された方や、この補助金を利用するにあたり就農計画という市が認定する計画を策定していただく必要があるのですが、策定をせず補助金を受けずに自分でやるといった方もあり減額をすることに至っています。

丹後委員

説明はわかりましたが、新規就農者を増やすということは非常に本市にとって大事なことだと思います。予算に余剰が出るということは、新規就農者が他の事業費を利用することもあると思いますが、新規就農希望者が減っているということなのでしょうか。その辺もわかれば教えてください。

農都創造部

昨年からコロナウィルス感染症の影響によりまして、若い人達の農村回帰、田舎暮らしのニーズは高まっています。田舎暮らし案内所のほうも例年に比べましたらかなり人気が高いというふう聞いておりまして、就農意欲は高まっているという状況です。ただ、この補助金を使うとなりましたら、まず新規就農者としまして、5年間の計画を立てていく必要があります。その計画を立てるのはなかなかハードルが高く補助金を減額しているのですが、近年は意欲が高い多くの方が窓口にこられている現状となっています。

丹後委員

心強い流れとして期待できる流れかなと思っております。今おっしゃったように、この補助金をぜひ使って就農に結びつけていただきたいと思います。計画作成のハードルが高いという事ですが、計画作成に関しての支援、指導等をしていただいて意欲のある方が就農に結びつくようによろしく願います。

園田委員

環境創造型農業推進事業に関し、土づくり支援事業補助金 524 万

1000 円の減額ですが、農薬使用回数を抑えた環境に配慮した農業を推進するという中で、この減額について農家の方の捉え方はどのような状況にあるのかお伺い出来たらと思います。

農都創造部

環境創造型農業の減額の原因が土づくり支援事業といたしまして、農家の方が堆肥を散布された際、あるいは土壌改良剤を散布された際に助成する事業で、令和元年から始めた事業です。その事業について取り組む方が少なく減額するものです。したがって環境創造型、化学肥料を減らすというのではなく、土づくり事業についての減額が多いのですが、この事業につきましては、集落で一括して堆肥散布をされる、また集落で一括して土壌改良材を購入し市に申請していただくという事業なのですが、申請者が少なく結果減額となっているところです。令和 2 年度につきましても、できるだけ多くの方に取り組んでいただこうとしまして要件を緩和したり、散布だけではなく購入いただいたら助成するというようなことも取り組んでいる状態ですけれども、令和 2 年度も少ない状況ですので令和 3 年度に向けて内容を見直し、できるだけ多くの方に取り組んでいただくように検討しようと考えています。

園田委員

堆肥等を利用するという事は、臭気が 1 番大きな原因があるかと思いますが、土づくりは有機農家の方々を増やしていくという中で、やっぱり 1 番大切な本市の農業の取り組みということの一つになるのではないかと考えます。竹チップ等を利用し、臭気改善していくとかの取り組みもありますので、土づくりに関してはもっと力を入れて推進をしていただければなというように思っておりますので、よろしくお願ひします。

大西委員

集落営農推進事業に関し、集落営農推進事業ということで草刈り隊の 1 組織に対して、補助金額 10 万円を交付していただいておりますけれども、一組織だけ 9 万 9200 円となっているのはどういう理由からなのでしょうか。

農都創造部

申請段階では 10 万円の申請をされていましたが、実績報告では使用された交付金が 10 万円未満でしたので、精算で 9 万 9,200 円ということになっております。

大西委員

現時点では 10ヶ所ぐらいで取り組みをいただいていると聞いていますが、草刈り隊の推進について、担当課としてどのような推進の仕方をされているのでしょうか。

農都創造部

この草刈り隊設立推進事業につきましては、令和元年度から始めまして、令和 3 年度まで 3 年間のモデル事業として取り組んでい

るわけでございます。去年は5組織、令和2年度今のところ6組織というところで11組織設立をいただいています。現時点では、農会長等への情報提供を行っていますが、今後の推進方法としましては、今11組織取り組んでいただいた方を集めて、どういった課題があるのか、どういった助成制度がいいのか等多面的機能支払い組織との連携、担い手農家との連携等、課題等を収集しまして、令和3年度以降に見直し、支援の在り方等について、検討していきたいというように考えております。

栗山副座長

先ほどの草刈り隊のことですが、これは地区に1組織というように限定されているのでしょうか。

農都創造部

原則集落に対して1組織という形で今進めておりまして、申請いただく際にも、農会長様か自治会長様あるいは多面的機能組織の代表者の方に、こういった組織をつくるけどいいかということで同意をいただくようにしています。ですから仮に、まちづくり協議会の地区で組織をつくって広域組織で動きます、その下に集落ごとに組織をつくりますよということであっても、それぞれの機能分担がありますので、重複してもそれは申請を受け付けておるという状況でございます。

栗山副座長

同じエリア内で、集落での草刈り隊とまち協単位での草刈り隊は、申請の対象となるのでしょうか。

農都創造部

先般そういう相談がありまして、広域組織の草刈り隊と、集落での組織は機能分担ができるので、申請いただいて結構ですというふうに回答させていただいています。

栗山副座長

担い手支援事業に関し、強い農業・担い手づくり総合支援交付金については、銀行の融資を受けることが交付条件になっているのでしょうか。

農都創造部

こちらは国の制度でございます、融資を受けるという要件がつけられてる助成になっています。

栗山副座長

コロナ禍で売上げが上がらないような状況の中、銀行の支払いが厳しいというようなことも考えられると私は予測しているのですが、その辺のことを、申請者に確認等はされているのでしょうか。

農都創造部

こういった認定農業者の方、専業農家の方は、定例会を持たれておりますのでその際に意見交換会をしておりますし、窓口でも米価が下がるという情報もありますので、そういった情報交換をしながら、米価値下がりに対する経済対策等も検討していくように考えております。

【主な説明】

農都環境課 農都創造部 補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

丹後委員 市単独土地改良事業に関し、丹波の田んぼダムの推進事業補助金が今回減額となっていますが、もう少し詳しく説明をお願いします。

農都創造部 県の補助金と連動しておりまして年度当初に県から、丹波篠山市としてこれぐらいの予算を計上しますということでのお話がありまして、田んぼダムの設置等を市内集落にお話をさせていただいて、取り組まれたところについて補助を出していくのですが令和2年度につきましては実績が少なかったということでの減額でございます。

丹後委員 どのぐらい予定されていて、その対象となったのがどれぐらいになったのか、また今後の見通しについてもお願いします。

農都創造部 当初予算 500 万円計上をいたしておりましたけども、今年度の実績として 53 万 3000 円の実績ということになりましたので、その差額分を減額させていただいております。

丹後委員 1 地域に 5 3 万円支出されるのでしょうか。余りにも予算予定と、実質と違うということは、何か使いにくい理由があるのでしょうか。

農都創造部 丹波の森 美しい村づくりプロジェクトにつきましては、兵庫県篠山土地改良事務所と協議をしながらの事業になっております。当初 500 万円ということで、現在実績としての 53 万 3000 円につきましては、1 地区での実績となっております。ただ、当初の 500 万円の予算につきましては、田んぼダム、一筆排水柵の他にもため池の緊急性のある補修のような部分も予算としては考慮しております。ただ、篠山土地改良事務所との調整協議もございますので、市独自で決めていけるということでもございませんので、今回、打合せさせていただいた中では、1 地区（大山地区）でさせていただきました。

丹後委員 県の事業で、県の意向もあるということで、市単独では出来ないということを理解しました。本来の趣旨からいうと、有効な事業だと思いますので、今後県とも協議され有効に使われるようにぜひ今後の進展を期待します。

園田委員 今年度ですが、ため池の田んぼダムのことについて、補正予算計上されたように思うのですが、この事業とはまたこれは全然関係のない経費だったとかと思うのですがどうなんでしょうか。

農都創造部	<p>丹波の田んぼダム推進事業補助金という予算もこの予算書に出てきていますが、その中に二つございまして、今先ほど丹後委員が言われました丹波の森 美しい村プロジェクト補助金ということで田んぼダムの補助金があります。それともう一つ、ため池治水活用拡大補助金もあり、二本立てになっています。昨年の9月の補正予算審議の際に、質問させていただいてわかりにくいということがありましたので、令和3年度については、丹波の田んぼダム推進事業補助金ということではなく、それぞれの補助金として予算要求させていただきます。</p>
森本委員	<p>ため池等整備事業に関し、新たに3ヶ所の調査に着手するという説明をいただきましたが、採択された3か所以外に危険ため池の調査も含まれるような説明をいただいたんですが、本当に危険なため池は一体市内にどれぐらい存在しているのでしょうか。積極的な事業着手を進めていく必要があるのなら、県や国の第三次補正の防災減災なんかも含めて積極的に取り組んでいくべきじゃないかなと思うのですがどうお考えでしょうか。</p>
農都創造部	<p>現在丹波篠山市内には、五反以上のため池が204か所、あと小さい池も含めて約420か所程度ございます。その中で、危険なため池といいますのは、先ほどの五反以上の大きなため池につきましては、5年に1度の定期点検を行っております。その中で、漏水しているとか、洪水吐が小さいとかの状況は、数値として把握しております。今回補正で上げさせていただきました、ため池3地区につきましては、大きなパイピング、いわゆる穴があいて漏水しているであろうとか、あと地震が起きたときに、耐震、地震上どうであるかという調査もしております。そのときに大きな地震があったときに危険であるというような場合と、かつ、漏水しているとか、あと、堤体が崩れているとか、危険であるというふうな判断をしたものを、兵庫県と調整して、順を追って計画をして事業を進めているというような状況でございます。</p>
森本委員	<p>順次、調査を行い県と協議し、事業着手に向かっていくということですが、今後どのぐらい予定をしていくべき数なのでしょうか。</p>
農都創造部	<p>あくまで計画中ですが、15池を考えています。その中には、ため池の改修、浚渫等を行うものもあり、地域または管理者から聞かせていただいているため池について、現在順番をつけながら進めていくような形で計画を県と調整をしています。</p>
栗山副座長	<p>県営土地改良事業に関し国三次補正対象という事で、ため池等整</p>

	備事業負担金が今回発生するという事ですが、国土強靱化対策の補正なのでしょうか。
農都創造部	国土強靱化、いわゆる国の三次補正であり、ため池では浜谷池、春日江地区、倉谷池、山谷池の4地区で、要求させていただいています。
栗山副座長	この浜谷池はどういった点から計上いただいたのでしょうか。
農都創造部	浜谷池につきましては、事業採択上は豪雨対策という形になっています。豪雨対策と地震対策との2通りの事業があります。浜谷池は地震対策ではございませんが、当然設計上堤体が安定するかどうかということで、地震に対する検討も行いますので、安全性については、地震対策であろうが豪雨対策であろうが、安全なため池が改修されるということには変わりはありません。
栗山副座長	地震対策もしていると言われたのですが、震度でいえばどのぐらいのものまで対応できるのでしょうか。
農都創造部	池の堤防の高さによって違いますが、10メートル以上のため池になりますと、震度5強程度の地震でも耐えうる堤体ということになっています。あとダムクラスになりますと、震度7程度というような地震であっても対応できるような検討はされています。
栗山副座長	浜谷池であれば、震度5程度に耐えうるという解釈でよろしいですか。近くに民家があるため、決壊するとかなりの被害が起きるのではと危惧しています。震度7クラスまで必要ではないかと考えますが、いかがでしょうか。
農都創造部	浜谷池については、耐震ではなく豪雨対策での対応として考えているのと併せ、ダムではないため、地震に関しては震度5程度に耐えられるようものとしての事業設計となっています。
	【主な説明】
農都創造部	補正予算書に基づき説明
	【主な質疑】
大西委員	緊急防災林整備事業に関し、緊急防災林整備事業補助金約2700万が減額されている具体的な中身の説明をお願いします。
農都創造部	事業内容は、県のみどり税を財源とする補助事業で、間伐を行い間伐した木を土留め工として横木に並べていくという2段階の事業となっています。当初予算で250ヘクタール予定をしておりましたが、県の財政事情もあり約100ヘクタール程度の割当てしかない

状況になっており、それ以上事業実施出来ないということで、県の割当て事業費に合わせて、うち止めたということになっています。

■日程第1 議案第6号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算(第13号)

観光交流部

【主な説明】

観光交流部 補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

大西委員 観光施設整備事業に関し、説明をいただきましたが工事請負費に関し詳細について再度説明をお願いします。

観光交流部 工事請負費600万円の減額につきましては、こんだ薬師温泉の施設にかかります空調を一括更新する工事となっております、入札の残により今回600万円が不要となったことで減額補正をかけさせていただいている状況です。

大西委員 手数料の減額についての説明をお願いします。

観光交流部 温泉につきましては公衆浴場法という法律に基づいて管理をしています。レジオネラ菌という人の身体に影響を及ぼす菌が配管内、浴槽内に繁殖する可能性があり、それを除去するための手数料として、配管内の清掃手数料を計上していました。今回モノクロラミン間欠法といたしまして、塩素を保留しながら、体にも悪影響を与えない工法で実施したため、当初予定しておりましたレジオネラ菌対策の配管清掃手数料が不要になり減額させていただいております。

園田委員 観光宣伝事業に関し、ラッピングトラック等PR補助金の件ですが、何台ラッピングされたのか、また現状について説明いただけますでしょうか。

観光交流部 当初予算で300万円計上させていただいております、事業実施する予定でしたが、観光会社、運送会社とも話をする中で、今年度のコロナ禍で、ラッピング事業を進めていくのは難しい状況であり、未実施となっています。ただこのラッピング事業につきましては、かなりPR効果もあると認識しておりますので、来年度の当初予算で再度予算を計上させていただく予定としております。

園田委員 来年度もコロナ禍の中でなかなか厳しい状況が続くと思いますが、前向きに取り組んでいただければと思います。

大西委員 ラッピング方法の条件は、どうなっているのでしょうか。

観光交流部 ラッピング方法ですが、観光バス、トラックも含めてですが、

	<p>両サイドと裏面の3面の全面にラッピングをしていただいた場合に、上限100万円を補助させていただいています。裏面のみラッピングをいただけたら50万円を上限として補助するという形で考えています。</p>
森本委員	<p>令和2年度はコロナ禍で観光交流部として思うような打って出るような事業が出来なくて大変であったと思います。新年度に向けて、イベント等の実施についての基準等についてどう検討しているのか教えて下さい。</p>
観光交流部	<p>本年度は、ご存じのとおり、コロナ禍で多くの人を招いてのイベントというのはできなかったのが現状です。現在、イベントを中止にしたことに伴う経済状況等について把握する作業を行っているところです。イベント実施の基準ということですが、例えば、味まつりであれば、イベント出店者や商店街の皆さんのお声や意見を聞きながら、それらを踏まえた上で、来年度、どういった形で開催するのがふさわしいのか等について、実行委員会でその方向性を検討していきたいと考えています。いずれにいたしましても、陶器まつりや茶まつりなど地域のイベントは主催者の判断に任せたいと思いますし、デカンショ祭や味まつりについては、本年度の状況を踏まえながら、どういった形で実施していくのか検討してまいりたいと考えています。</p>
大西委員	<p>商工費雑入に関し、観光PRグッズ代ということでマスクを今回販売されていると思いますが、どのような状況か教えていただけますか。</p>
観光交流部	<p>マスクは、グレーと、ピンクの2種類で作成しています。サイズにつきましては、S、M、Lの3種類、トータル1800枚作成、単価500円で販売しています。販売収入は、500円掛ける600枚ということで、30万円の歳入の見込みで今回計上しています。30万円という見込みで補正予算の計上をしたのですが、12月末時点ではそれを上回る販売数となっており954枚となっており、これからまだコロナ禍が続くという中でマスクの販売についてはまだ伸びていくだろうというように思っておりますので、PRも含めて進めていきたいと考えています。</p>
栗山副座長	<p>コロナ禍でのイベント実施に関しては、本年度の結果も参考にしながら検討する必要があると考えますがいかがでしょうか。</p>
観光交流部	<p>先ほどもお答えさせていただきましたが、デカンショ祭と味まつりとは、性格的に少し違うイベントであると考えています。デ</p>

カンショ祭については、コロナも収束し条件さえ整えれば開催は可能であると思います。また、味まつりについては、枝豆など丹波篠山の特産物販売を中心にしたイベントで、本年度は、3日間のイベントを開催しなくても、10月には多くの観光客が来られて、実際にその場で手に取り、買っていかれるというような流れができたように感じています。従いまして、イベントの実施については、議員がおっしゃられるとおり、本年度の結果等を参考にしながら検討していきたいと思います。

■日程第1 議案第6号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算（第13号）

まちづくり部

【主な説明】

まちづくり部 補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

- 丹後委員 住宅一般事務費に関し、委託料の内容を教えてください。
- まちづくり部 簡易耐震診断の委託料でございます。これにつきましては当初30件程度予定しておりましたが、今年度は15件という形になりました。国の補助金等の期限の関係で12月末までの申込みという形になっておりますので、15件で確定させていただいて、残りの予算について減額という形をさせていただいております。
- 丹後委員 簡易診断は、誰でも希望すれば受けられるのでしょうか。診断してもらえる資格を教えてください。
- まちづくり部 個人住宅と共同住宅のみになっております。
- 丹後委員 個人も希望すれば診断を受けられるという事ですね。共同住宅の定義はどうなっているのでしょうか。
- まちづくり部 共同住宅というのはアパート、マンション等の住宅を指しており、まち協の事務所等の共同で使用されている建物は含まれていません。

【主な説明】

まちづくり部 補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

- 丹後委員 道路新設改良費に関し、国庫補助道路整備事業について、国の三次補正予算により、令和3年度に導入の予定をしていた通学路の安全対

策を前倒して実施するという事でしたが、具体的にどのようなことをお考えなのでしょうか。

まちづくり部

地域から危険箇所として要望のありました市民センター北側の東西方向の市道、郡家から黒岡にかけて、朝の通勤時間帯に学生と車両の離合が危険だということなので、その安全対策として路肩のカラー舗装を計画しています。交通の規制も考えながら、警察と協議を行い、どの様な安全対策の内容が良いか進めていきたいと考えています。

丹後委員

市民センターの北側については、高校生とか中学生が自転車で通ったりしている姿をよく見るので、カラー舗装を施してどこを通ったらいいのかわかるようにするというのは非常にいいなと思います。安全面としては有効だと思いますので、他の箇所でもお願いしたいと思います。

まちづくり部

通学路の安全対策等につきましては、通学路安全プログラムという組織を警察、兵庫県の土木事務所、学校、市（地域整備課、市民安全課、教育委員会の学事課）で要望があった危険箇所等をチェックし、年2回会議を開いて現地調査及び、今後どういう方向とするかというような検討を行う会議があります。そのプログラムの計画に載せましたら、国庫補助事業を使用できるようになりますので、地域、PTAからの要望に対して検討していくというシステムになっています。

栗山副座長

市民センターの北側の子供たちの通学路の件ですが、デコボコがあるというような話も聞いています。今回のカラー舗装を施行される際に道路の整備も併せて実施できるのでしょうか。

まちづくり部

今回予定しています箇所については、舗装が部分的に損傷し陥没したりしていて悪い状態であるのは把握しています。国庫補助対象ではカラー舗装等は実施できますが、舗裝修繕は出来ないため、道路修繕の予算を利用し、同時施行という形で整備するよう検討していきたいと考えております。

■議員協議

議案第 6 号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算（第13号）

議案第10号 令和2年度丹波篠山市水道事業会計補正予算（第6号）

議案第11号 令和2年度丹波篠山市下水道事業会計補正予算（第3号）

—部長等への確認 なし—

- 議案第 6 号 令和 2 年度丹波篠山市一般会計補正予算（第 13 号）
議案第 10 号 令和 2 年度丹波篠山市水道事業会計補正予算（第 6 号）
議案第 11 号 令和 2 年度丹波篠山市下水道事業会計補正予算（第 3 号）

—市長等への質問 なし—

■意向確認

- 議案第 6 号 令和 2 年度丹波篠山市一般会計補正予算（第 13 号）
議案第 10 号 令和 2 年度丹波篠山市水道事業会計補正予算（第 6 号）
議案第 11 号 令和 2 年度丹波篠山市下水道事業会計補正予算（第 3 号）

—全員賛成—

吉田座長 この結果を含め、執行部との質疑、答弁の内容について、座長報告を行いたい。報告については、座長に一任願いたい。

—異議なし—

栗山副座長 あいさつ
閉会 13 : 42